

広
報

とままえ

2023

9

No.745

いつまでも 暮らしていける とままえに

とままえふるさとまつり



まつりを盛り上げる

豊饒太鼓の音色



古丹別・苦前 ふるさとまつり

8月14日、苦前町公民館前にて古丹別ふるさとまつりが開催。町社会福祉協議会による苦前町〇×クイズから始まり、こども盆踊り・抽選会などの様々なイベントがおこなわれていた。

翌日15日には、苦前地区コミュニティセンター前で、苦前ふるさとまつりも開催された。子供を対象としたじゃんけん大会にカラオケ大会などもおこなわれ、大人、子供問わず楽しみ賑わった2日間となった。

また、両日ともに豊饒太鼓保存会による演奏もあり、その音色は祭りの雰囲気を高めていた。



「町長と語る会」を実施

町民との対話を重視した行政を目指す取組の一環として、今年から「町長と語る会」が開催されている。

長く続いたコロナ禍により、中止が続いたが、コロナが5類に移行となり町長が全町内会に開催の実施を呼びかけているもの。第一回目は、長島町内会にて、8月21日（月）に開催され、長島の皆さんが町長と膝を交えた。富士町長からは、一次産業関連の取り組みの報告や、給食費の無償化などの子育て支援、これからのゼロカーボンについて



などの話があった。参加した町民からは「スマート農業の推進のおかげで作業が楽になり助かっている」との声があったほか、水田利活用問題の協議など、ざっくばらんに意見交換がされ、予定の2時間があったという間に過ぎていた。

今回の「町長と語る会」は、古丹別連合町内会を対象に9月29日（金）午後7時から公民館で開催される予定。開催を希望する町内会や団体があれば、総合政策室へお問合せください。

・ 苫前町総合政策室

☎ 0164(64)2040

羽幌警察署からのお知らせ

秋の全国交通安全運動の実施

～反射材「ここにいるよ！」のメッセージ～

(1)「秋の全国交通安全運動」が実施されます！

運動期間 9月21日（木）～9月30日（土）の10日間

(2)交通安全防止のポイント

○ ドライバーの皆さんへ

夕方から夜間にかけての歩行者や自転車の見落としや発見の遅れによる交通事故を防ぐために、「スピードダウン」と「交差点等での安全確認」を徹底しましょう。

「シートベルトは命綱」、全席着用で安全運転に努めましょう！

○ 歩行者の皆さんへ

歩行者から車が見えていても、ドライバーからは見えていない可能性があります。無理な道路横断はやめ、横断歩道を利用しましょう。

○ 自転車利用者の皆さんへ

自転車も車の仲間であり、交通ルールやマナーを守らなければなりません。

令和5年4月1日から、全ての自転車利用者の方に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されていますのでヘルメットを着用しましょう。



地域で守り育てよう 私たちの苫前商業高等学校

「GO FOR IT ～苫前商業高校自転車ツーリング～」

今年度で3回目になる本校自転車ツーリング。3年前、2年生の授業で「苫前町でできること、したいことは何か」というテーマで議論した際、一人の生徒が自転車を使った企画をしたと提案。この提案が実を結び、苫前町だけではなく留萌管内全域での、食べ物、景色、人との出会いを求めて始めました。企画内容は「苫商の伝統行事」や「苫前商業のPR」等、回数を重ねていくごとにテーマが増えていきました。

当初の目標は「留萌管内の市町村を全て回る」こと。3年目の今年は、沼田町まで足を延ばして増毛方面へ向かいました。3年生3名、2年生9名、1年生1名の計13名のメンバーのうち、初参加は8名でした。3年生の番園さん、吉村さんは今年で3回目の参加となり、みんなを引っ張ってくれるリーダー的な存在でした。無事に全員が完走できるのかとハラハラ・ドキドキしていました。そんな心配もどこかへ吹き飛ばすくらい、子どもたちは一生懸命楽しく自転車をこぎ続け、全員完走することができました。

これまでツーリングを経験している2年生や3年生が準備の段階から中心となり、準備からゴールまで生徒が主体となって進めることができました。道中、沿道で休憩所の提供や応援の言

葉を頂戴することもありました。最後の振り返りの時間、一緒に参加してくださったシーニックバイウェイ北海道萌える天北オロロンルートの方から「沿道から応援があったのは3年間の蓄積があるから、自転車ツーリングが根付いてきた証。どうかこの経験を活かして、自信をもってこの先を過ごしてほしい」と言葉を頂きました。

「自分たちで資金を調達したい」という思いで取り組んだクラウドファンディングでは、今回も全国の方々からたくさんのご支援を頂きました。また、苫前町や苫前町教育委員会、シーニックバイウェイ北海道萌える天北オロロンルートを始めたくさんの方々のサポートがあつてこそできる事業だと生徒・教職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

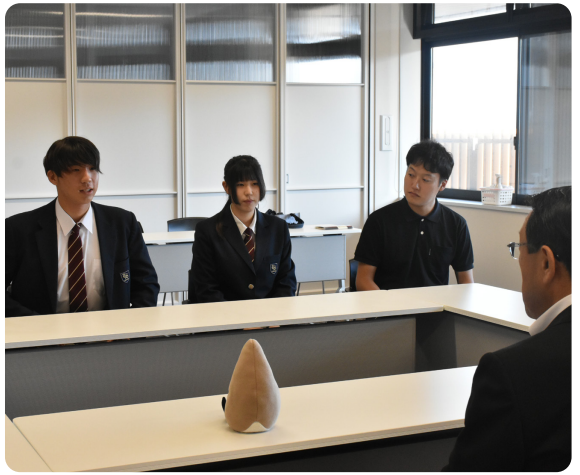
一人の生徒の意見が、苫前商業の伝統行事へと大きく発展した自転車ツーリング。本校は小さい学校だからこそ生徒の意見が反映されやすいと感じています。自転車ツーリングを始め苦力フェなど本校の生徒はたくさんいるので苫前町内外で活躍しています。これからの生徒の活躍に乞うご期待!!

文・写真・苫前商業高校地域連携委員

高橋 健



まちのできごと



ニュージールランド短期留学 富士町長へ帰国報告

ニュージールランドでの短期留学を終えた苦前商業高校の秋山美海さんと高橋大和くんが、8月23日に富士町長の下を訪れ帰国報告をおこなった。2人は町の補助事業へのお礼を述べると共に「留学先での体験やホストファミリーと過ごしたことで日本との文化の違いをより感じられた」と話した。富士町長からは「国際交流できるのも平和あってこそ。その重みを感じて下さい」と話していた。

TOMACAFÉ 上田ファーム店舗で開店

8月26日、古丹別の上田ファーム(株)店舗前にて、苦前商業高校生による「TOMACAFÉ(苦カフェ)」が開店された。

苦カフェは、商業部の活動の一環として、上田ファーム(株)の焼きたてのパンやドリンク数種を販売している。

今回もパンやドリンクを求め、多くの客が来店し、飲食を楽しむ姿があった。



戦没兵士遺霊品返還式

8月10日、太平洋戦争の沖縄戦にて亡くなった加藤馨さんが所持していた日章旗が遺族のもとへ返還された。

返還式には、馨さんの弟嫁である加藤千やさんとその子息である加藤誉美さんらが出席。富士町長より日章旗が手渡された。

旗を所有していた米国人が、日本兵の遺留品の返還活動をしている「OBONソサエティ」へ依頼したことで、今回の返還となった。

苦前町戦没者追悼式

8月18日、苦前町公民館講堂にて町戦没者追悼式が、遺族・来賓ら約30名が参列して挙行された。

戦没者名簿献上の後、富士町長が「太平洋戦争で戦死された町出身者が所持していた日章旗がアメリカから家族の元に戻り、平和の尊さを強く認識した。この平和を守っていかねければならない」と式辞を述べ、御霊を追悼するとともに、恒久平和を祈った。



古丹別小学校 とうもろこしの皮むき

8月25日、古丹別小学校の1年生10名が、小学校横の給食調理場にてとうもろこしの皮むきを体験した。

子供たちは、皮のむき方のレクチャーを受けた後、1枚1枚丁寧に皮むきをおこなっていた。

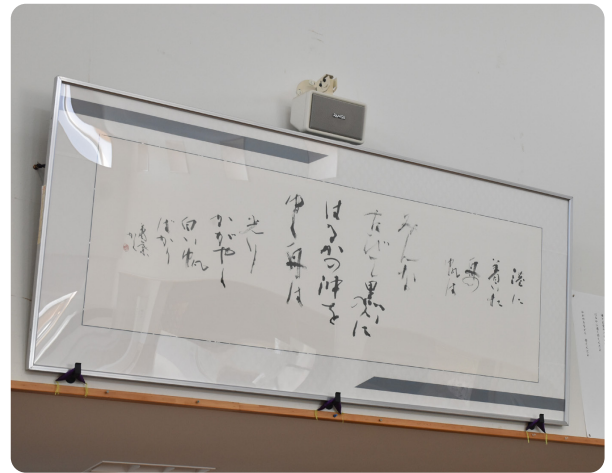
体験に使われたとうもろこしは、調理場で茹でられ、同日の学校給食で提供された。



苦前中学校卒業生から 書道作品等の贈呈

苦前中学校の第11回卒業生である渡邊玲子さんから母校である苦前中学校に対し、金子みすゞの詩「帆」の一部文章を書いた書道作品の寄贈と現金の寄付があり、贈呈式を8月28日におこなった。

作品は、第16回不二現代書展で準大賞を受賞している。事前に学校へ連絡することで、作品を観覧することができる。



ヒラメ稚魚放流式

苦前こども園と古丹別こども園の園児により、ヒラメの稚魚が、8月29日に苦前漁港へ放流された。

放流式の前には、苦前冷蔵庫内の見学や港湾業務艇「ゆりかもめ」に乗船し、苦前漁港の見学もおこなわれていた。子供たちは「大きくなってね」と声をかけ願いを込めながら稚魚を丁寧に放流していた。



古丹別連合町内会避難訓練

9月2日、古丹別連合町内会による避難訓練がおこなわれ、約100名が町公民館へ集まった。

町の防災担当者をはじめ、消防士や羽幌警察署員からの講話のほか、日赤奉仕団苦前分区によるカレーライスの炊き出しがおこなわれた。

富士町長からの挨拶に続き、主催者の平田日出男連合町内会長は「今回の訓練が、今後の生活へ役立てることができると思います」と話していた。



苫前中学校 3年生全員が全道大会に出場！

苫前中学校吹奏楽部 町長表敬訪問

8月29日、9月に苫前中学校としては44年ぶりとなる吹奏楽全道コンクールへの出場を控える同校吹奏楽部の3年生8名が福士町長のもとを表敬訪問した。

吹奏楽部部長の秋山七海さんは「残りの時間は少ないが、練習を重ねて本番でいい演奏ができるようにしたい」と大会への意気込みを語った。

その後福士町長からは「全道大会へ出場することは、我々や町民もうれしく思っている。全国大会目指して頑張ってきてください」と激励を送っていた。



中体連全道大会出場生による報告会

吹奏楽部の表敬訪問と併せて、中体連全道大会へ出場していた卓球部・剣道部・野球部の生徒一人ひとりから結果が報告された。

生徒からは「初めての全道大会はとても緊張した。先輩たちの後を引き継げるよう頑張りたい」「今回自分的にはいい試合ができてよかった。これからの生活でも今回先生方に教わってきたことを活かしていきたい」などと語られていた。



卓球部：女子団体の部において、第1ステージを勝ち上がり道内ベスト4となる。第2ステージにおいて、3位となるが惜しくも全国大会への出場を逃す。個人戦では、全員が初戦敗退となる。

剣道部：後藤くんが個人初戦を制すも2回戦にて敗退。団体戦は初戦敗退に。

野球部：初戦、中標津町立広陵中学校と対戦。善戦するも3-6で敗れる。



約 10 年の時を経て再結成 苫前町豊饒太鼓保存会

近年、様々な町内行事で演奏を披露している「苫前町豊饒太鼓保存会」。

今回は、現会長である阿部拓矢さんへ現在の保存会についてお話を伺いました。

豊饒太鼓保存会の再結成

昭和58年、当時の農業後継者7名によってスタートを切った豊饒太鼓保存会。全道青年大会郷土芸能部門で優勝するなどの活躍を見せていたが、メンバーが多忙となり活動を休止していました。

そして平成29年、和太鼓を叩きたいとの想いを持つ有志が集まり再スタートし、今に至っています。

現在、一般会員（高校生以上）が18名おり、主婦をはじめ、農家や漁師、教職員など様々な職種の人達が参加しています。

ジュニア（小中学生）では9名が参加。小学3年生から参加することができま

保存会へ抱く想いとは？

27名の太鼓が好きな人達が集まっており「みんな楽しく演奏し、イベントを盛り上げること」

を目指して活動しています。

これからも色々な人達に太鼓の魅力を知ってもらい、だんだん興味を持ってもらう人が増えて、保存会がこの先も続いてくれたらと思います。

まずは見学・体験から いかがですか？

練習は基本土曜日の19時から公民館でおこなっており、練習風景の見学も大歓迎です。太鼓を打つ体験もすることができます。

また、小中学生は大人より先に練習し、早めに終わられるなど、子供にとっても練習のしやすい環境が整っています。

まずは、見学や体験から太鼓に触れて、少しでも興味を持てたら、みんなと楽しく演奏してみませんか？



～小麦収穫～

7月下旬から8月上旬にかけて、町内の小麦が収穫期を迎えた。

天候が安定しているうちにと、巨大なコンバインが畑一面に広がる麦穂を次々と刈り取っていった。



～水稻防除作業～

8月上旬、水稻の防除作業が行われ、青々とした稲の上をドローンやヘリコプターが舞う風景が見られた。

防除は町内の複数箇所で行われ、一枚の田で作業を終えるとドローンやヘリはトラックに乗せられ、また次の田へと向かっていった。



地域社会貢献事業を実施していただきました。



ヒラメ人工種苗放流式における 園児送迎バスの運航

三協建設株式会社（堀松秀樹代表取締役）が8月29日に、ヒラメ人工種苗放流式において、園児送迎のためバスの運行を地域社会貢献として実施していただきました。

ありがとうございました。

ファイヤー通信 自然災害に備えましょう！

災害に対する家庭での備え～これだけは準備しておこう！～

非常持ち出しバッグの準備はできていますか？

自宅が被災した時は、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

※今やホームセンターやドラッグストア、ネット通販でも内容が充実した非常持ち出しリュックが購入できます。

食料品・安眠用品・衛生用品の3つがすべて入っているものを選びましょう。

非常持ち出しバッグの内容の例（人数分用意しましょう）

優先度★★★★

食料品 ・飲料水 500ml × 2
・食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど調理不要なもの）

安眠用品 ・エアークッション・アイマスク・耳栓・アルミシート

衛生用品 ・マスク・アルコール除菌・救急セット・歯ブラシ・ティッシュ

優先度★★★

電源周り・懐中電灯・電池・充電コード・モバイルバッテリー

優先度★★

逃げる際に必要なもの・ビニール袋・スリッパ・ホイッスル・軍手・筆記用具・カイロ・雨具

※女性

・生理用品

※こども・乳幼児

・粉ミルク・オムツ・常備薬・おもちゃ・菓子類

※高齢者

・大人用オムツ・持病薬・お薬手帳・レトルトのおかゆ



火事・救急は 119 番！ 苫前支署 ☎ 64-2321
古丹別支署 ☎ 65-4119

介護保険ガイド

● 介護保険で利用できるサービス【施設サービス】

施設サービスは、介護が中心か治療が中心かなどによって入所する施設を選択します。入所申し込みは介護保険施設へ直接行きます。要支援1・2の人は、施設サービスは利用できません（介護老人福祉施設は要介護1・2の人も原則として新規入所できません）。

● 施設サービスの費用について

施設サービスを利用した場合、サービス費用1割、2割または3割に加えて、食費、住居費、日常生活費を施設に支払います。



■ 基準費用額：施設における居住費・食費の平均的な費用を勘案して定める額（1日あたり）

利用者負担は施設と利用者の間で契約により決められますが、基準となる額が定められます。

- 居住費・・・ユニット型個室 2,006 円、ユニット型個室的多床室 1,668 円
従来型個室 1,668 円（介護老人福祉施設と短期入所生活介護は 1,171 円）
多床室 377 円（介護老人福祉施設と短期入所生活介護は 855 円）
- 食費・・・1,445 円

● 低所得の人は食費と居住費が軽減されます

【負担限度額（1日あたり）】

利用者負担段階		居住費の負担限度額				食費の負担限度額	
		ユニット型 個室	ユニット型 個室的多床室	従来型 個室	多床室	施設 サービス	短期入所 サービス
第1段階	本人および世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金の受給者、生活保護の受給者	820円	490円	490円 (320円)	0円	300円	300円
第2段階	本人および世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額+非課税年金収入額が80万円以下の人	820円	490円	490円 (420円)	370円	390円	600円
第3段階 ①	本人および世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額+非課税年金収入額が80万円超120万円以下の人	1,310円	1,310円	1,310円 (820円)	370円	650円	1,000円
第3段階 ②	本人および世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額+非課税年金収入額が120万円超の人	1,310円	1,310円	1,310円 (820円)	370円	1,360円	1,300円

●介護老人福祉施設と短期入所者生活介護を利用した場合の従来型個室の負担限度額は、（ ）内の金額となります。

●軽減を受けるためには、事前に申請が必要です。

お問合せ：苫前町保健福祉課 0164-64-2215

国民年金

マイナポータルから国民年金手続の電子申請ができます

対象手続	①国民年金第1号被保険者加入の届出（退職後の厚生年金から変更等） ②国民年金保険料 免除・納付猶予の申請 ③国民年金保険料 学生納付特例の申請
------	---

メリット1	24時間365日、申請ができます！
-------	-------------------

メリット2	スマートフォンから申請できます！
-------	------------------

メリット3	処理状況も申請結果も確認できます！
-------	-------------------

まずはマイナポータルの「利用者登録」が必要です→

手続にはマイナンバーカードと、その受け取り時に設定したパスワードが必要です。



※「マイナポータル」とは、行政手続のオンライン窓口です。
オンライン申請、行政機関等からのお知らせ通知の受信などのサービスを提供しています。

マイナポータルとねんきんネットをつなげると、もっと便利です！ つなげる手続は簡単！

メリット1	日本年金機構からのお知らせをマイナポータルで受け取れます 学生納付特例が承認されて翌年度以降も在学予定の方の場合は簡便な方法で電子申請が行えるお知らせが受け取れます。 今後のお知らせサービスを拡充予定です。
-------	---

メリット2	年金記録を確認できます ご自身の国民年金の記録や、お勤めになられた会社の履歴、標準報酬月額、賞与額が確認できます。
-------	--

メリット3	将来の年金見込額を試算できます 働きながら年金を受け取る場合や、年金の受給開始を遅らせる場合など様々な条件に合わせた試算ができます。
-------	---

マイナポータルからの手続が必要です。

手続にはマイナンバーカードと、その受け取り時に設定したパスワードが必要です。

お問合せ：苫前町住民生活課 0164-64-2213 留萌年金事務所 0164-43-7211

健康ばんざい

苫前町食生活改善協議会は準会員を募集しています！

○食生活改善協議会とは

食生活改善協議会（以下食改とする）は、ヘルスマイト養成講座を受けた人たちで構成された、食を通して地域の健康づくりを行うボランティア団体です。現在、苫前町食改は会員数8名と少人数ですが、料理教室を中心に活動を行っています。

○苫前町食生活改善協議会の活動

苫前町食改では主に3つの料理教室、町主催事業での調理実習、苫前町食改や留萌管内の食改との交流学習会を行っています。



おやこ料理教室

親子で楽しく料理ができます！



男性料理教室

気軽に料理を楽しめます！



骨と筋肉のための料理教室

栄養と筋トレの2つを学べます！



新年交流会、春の交流学習会

会員同士和気あいあいと交流しています！

○準会員に登録して一緒に活動しませんか

食改会員になるためには全20時間の養成講座を受ける必要がありますが、準会員は養成講座を受けずに食改と一緒に料理教室や食に関する学習会に参加することができます。主な活動は料理教室の調理補助、食改会員のみで行っている交流学習会の参加です。

料理のレパートリーを増やしたい方、地域の子どもや大人と一緒に料理をしてみたい方、食に関する知識をつけたい方など少しでも活動に興味がある方は、お近くの食改会員か食改事務局までお声がけください。今年度の活動予定は下記のとおりです。

<令和5年度活動予定>

- 10月15日(日) 骨と筋肉のための料理教室
- 11月23日(木・祝) TDK料理教室
- 11月25日(土) おやこ料理教室
- 12月1日(金) 男性料理教室
- 1月23日(火) 新年交流会(会員・準会員のみ)
- 1~2月 予定 シニア料理教室
- 3月4日(月) 春の交流学習会(会員・準会員のみ)



お問い合わせ 苫前町食生活改善協議会事務局 ☎64-2215
(苫前町保健福祉課保健係)

学びの広場

「骨と筋肉のための料理教室&正しく学ぶ！筋力トレーニング講座」

日時 10月15日(日) 10時30分～14時45分
場所 苫前町公民館
講師 苫前町食生活改善協議会(料理教室)
学校法人三幸学園 専門課長・健康運動指導士
澤田 友紀 氏(筋力トレーニング)
申込み 10月5日(木)までに
苫前町公民館へ電話等で申込みください。
参加費 300円
持ち物 上履き・タオル・エプロン・三角巾・飲み物等を持参し、
動きやすい服装でご参加ください。
その他 イベント傷害保険には加入しませんので、
各自スポーツ安全保険等に加入をお勧めします。

参加者募集！！



公民館講座「もふもふリースづくり」

めったにお目にかかれない「アルパカの原毛」を使ったリースづくりを体験してみませんか？

日時 10月20日(金) 13時30分～15時00分
場所 苫前町公民館
申込み 10月17日(火)までに
苫前町公民館へ電話等で申込みください。
講師 VIVAアルパカ牧場 本間 香 氏(剣淵町)
材料費 1,000円
定員 10名まで



社会教育施設及びスポーツ施設の利用期間について

日頃から本町社会教育施設ならびにスポーツ施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

10月31日までご利用できる施設は次のとおりです。お知らせします。

また、来年1月には下記の施設がオープンします。

詳細につきましては、改めてお知らせしますので、楽しみにお待ちください。

●令和5年10月31日(火) クローズ
苫前町郷土資料館
苫前パークゴルフ場
古丹別リバーサイドパークゴルフ場
苫前町野球場

●令和6年1月6日(土)
オープン予定
苫前三角点スキー場
古丹別緑ヶ丘スキー場



苫前町公民館図書室の新刊を紹介します

- ・スワン/呉 勝浩
- ・ザリガニの鳴くところ/ディーリア・オーエンズ
- ・よねさんの免疫力超アップの食卓:細胞がシャンとして健康になるおいしい家庭料理/米澤 佐枝子
- ・現役看護師イラストエッセイ
病院というヘンテコな場所が教えてくれたコト。/仲本 りさ

他にもたくさんの新刊や道立
図書館の借り受け本があります
ですので、ぜひご利用ください。

～あなたの学びを応援します～

苫前町公民館

☎ 65-4076 FAX 65-3220

Email shakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp



とままえ社協だより

この広報は、赤い羽根共同募金の助成により発行されています。

ほほえみ



社会福祉法人苫前町社会福祉協議会 苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1 苫前地区コミュニティセンター内
 ☎ : 0164-64-2387 FAX : 0164-64-9090 HP: <https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae>

社協ニュース

招魂祭・遺霊品返還式が行われました

8月10日、苫前町遺族会主催による招魂祭が苫前神社境内の忠魂碑前で行われました。

福士敦朗苫前町長、阿部俊一苫前町議会議長、伊藤通康平和の鐘奉賛会会長、大井一弘苫前町社会福祉協議会会長を来賓に迎え、苫前町遺族会の森晃一会長ほか会員12名、一般参列者6名が参列しました。

斎主が祝詞を奏上し、参列者一人ひとりが玉串を捧げ、慰霊の祈りを捧げるとともに平和への誓いを新たにしていました。

招魂祭の後、苫前神社社務所にて、米国オレゴン州公認 NPO OBON ソサエティと苫前町遺族会共催による戦没兵士遺霊品返還式が行われ、太平洋戦争に苫前町から出征し亡くなられた加藤馨さんの日章旗が遺族の加藤チャヤさんのもに届けられました。

遺族代表であいさつをした加藤誉美さんは「戦後78年が経ち遺品が戻ってくるとは思ってもみませんでした。二度と戦争のない世界になってほしいです」と語っていました。



福祉体験学習が行われました

毎年度実施されている古丹別小学校（山口清敏校長）3・4年生の福祉体験学習（地域学校協働活動）が、7月5日、社協職員が講師役となって行われました。

当日出席した14名の児童は、3つのグループに分かれて車いす体験、視覚障害体験、高齢者体験の3種類を順番に疑似体験しました。車いすに試乗して操作方法を学んだり、アイマスクを着けて白杖の感触を頼りに歩いたりといった体験を経て、ハンディキャップを持つ人の気持ちや、支える人としての気持ちなどについて、お互いの感想を共有しながら、学習を深めました。



ふれあい倶楽部が開催されました

8月4日、今年度第3回目のふれあい倶楽部を開催しました。

27名の参加があり、午前中は「フラワーアレンジメント」を楽しみました。西川加代子さんに講師を務めていただき、ガーベラを織姫、ひまわりを彦星、利休草を天の川に見立て、孔雀草、白りんどう、笹、カスミノウなどのお花を組み合わせた七夕アレンジに挑戦していただきました。同じ花材を使用しても一人ひとり違った個性あふれる作品が完成しました。

その後、苫前駐在所の目黒所長より交通安全や詐欺被害の講話を行っていただき、参加者は真摯に耳を傾けられていました。

午後からは合同会社福祉トータルサポート 紬生（つむぎ）の佐々木一樹さんを講師に招き「転倒予防の運動と遊びリレーション」と題して、転倒防止の運動や空間認知能力を高める運動などを行いました。最後にタオルとビーチボールを使ったチーム対抗戦を行い、白熱した笑いの絶えないゲームで締めくくることができました。

次回のふれあい倶楽部は、10月11日に開催予定で、「絵手紙」と「ヨガのリズム」を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



まちなかサロンが開催されました



7月19日に第3回目のまちなかサロンを開催しました。町保健福祉課の宮前保健師長と中谷管理栄養士をお迎えし、元気な身体づくりをするための運動や食事について教えていただきました。

また、8月23日開催の第4回目では、町教育委員会社会教育課の長野主査によるトロンボーン演奏やけん玉のアトラクション、苫前町公民館図書室管理員の佐々木さんによる読み聞かせを行っていただき、参加者を楽しませていただきました。

これまでは講話が中心だったので、今回のような体験は非常に盛り上がりました。

次回は9月20日に開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



風車まつり会場で募金 PR 活動を行いました

7月23日、とままえ夕陽ヶ丘未来港公園で行われた「第20回北海道風車まつり」にて、赤い羽根共同募金 PR 活動を行いました。

4年ぶりの開催だったこともあり、大盛況な一日となりました。この日の募金額は29,408円となりました！

皆さまのご協力に感謝いたします。

お預かりした募金は、赤い羽根共同募金に寄託され、苫前町内と道内の福祉活動に役立てられます。ありがとうございました。



令和6年度赤い羽根共同募金公募助成事業のお知らせ

苫前町共同募金委員会では、身近に参加できる地域福祉活動である赤い羽根共同募金運動に対する理解を深め、地域福祉活動に広く還元するとともに、助成を受けて実施される事業による地域の絆づくりや支え合いの促進を目的として、公募による助成を実施します。

助成対象団体は、苫前町内で地域福祉活動に取り組む当事者組織、ボランティア団体、地域団体及び社会福祉事業者などで、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの間に実施する事業が対象となっています。

詳細は回覧にてお知らせしますので、ぜひご検討ください。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！

今年度も10月1日より、赤い羽根の共同募金運動が全国一斉に実施される予定です。

お寄せいただいた募金は社会福祉協議会等が実施する地域福祉活動をはじめ、障害者等の施設の車両購入などに使われるほか、一部は「災害等準備金」として積み立てられ、大規模災害発生時に被災地のボランティアセンターの活動支援のために活用されています。地域住民の皆様には、共同募金運動の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

また、今年度のご当地ピンバッジの頒布を既に開始していますが、現在、「くまだとまお×凧あげ」と北海道共通デザインの「エゾナキウサギ」「初音ミク」を合わせ、計3種類のバッジを取り扱っています。募金額500円につき、ご希望のバッジいずれか1つを進呈しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、とままえ温泉ふわっとにピンバッジ入りのガシャポンステーションを設置していますので、お立ち寄りの際はぜひご協力ください。



ボランティア活動をはじめませんか？

ボランティア活動には様々なものがありますので、ご自身で興味のあることや日ごろ気になっていることなどから、自分に合った活動を探してみてください。

苫前町ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体の相談に応じていますが、ボランティア活動に来て欲しいといった受入側の要望などについてもお寄せください。

なお、ボランティア活動の際にはボランティア活動保険への加入をお勧めしていますが、センターに個人ボランティア・ボランティア団体として登録いただけますと、保険料をセンターの負担で加入することができますので、お気軽にお問い合わせください。

○苫前町社会福祉協議会のボランティア募集

・事業運営補助

～ふれあい倶楽部やまちなかサロンなどの福祉事業において、事業運営を手伝っていただく方を募集しています。最初は、事業の様子の見学からでも構いません。

・配食サービス補助

～週1回、高齢者の見守りを兼ねてお弁当（夕食）をお届けするサービスの配達員を募集しています。見守り先（配達先）1件当たり200円の有償ボランティアになります。

○苫前町共同募金委員会のボランティア募集

・募金運動補助

～イベントや企業訪問といった募金運動を手伝っていただく方を募集しています。一般の方に限らず、小学生以上の学生ボランティアも大歓迎です。



町内予定

9月

22日(金) 苫前町敬老会 (公民館)

28日(木) ふれあいスポーツ大会
(スポーツセンター)

30日(土) 特定健診、各種検診
(苫前地区コミセン)

7日(土) 苫前中学校学校祭

8日(日) 古丹別小学校学芸会

11日(水) ふれあい倶楽部 (ふわっと)

13日(金) オレンジカフェとままえ
(厚生クリニック2階)

10月

1日(日) 特定健診、各種検診 (公民館)

14日(土) 苫前小学校学芸会

15日(日) 骨と筋肉のための
料理教室 (公民館)

特設行政相談が実施されます

○行政相談とは

国の行政全般についての仕事・その手続やサービスへの苦情や意見・要望などを皆様から行政相談委員がお聴きし、関係行政機関などへ必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図るとともに、皆様の声を行政の制度や運営の改善に活かすことを目的に行われています。

相談は無料で、手続等もなく、気軽に利用いただけるとともに、相談者の秘密は固く守られます。

期 日 10月19日(木)

場 所 古丹別地区 10時00分～12時00分 苫前町公民館研修室
苫前地区 13時30分～15時30分 苫前地区コミュニティセンター

対 応 西川 加代子 行政相談委員

その他 相談等の予約は不要です。
直接相談会場にお越し下さい。

住民基本台帳の閲覧の状況を公表します

住民基本台帳法の規定により、毎年少なくとも1回は住民基本台帳の閲覧状況を公表しなければならないとされています。苫前町における令和4年5月1日から令和5年4月30日までの閲覧状況は、次のとおりとなっております。

【申出者】

- ・自衛隊旭川地方協力本部

【利用目的】

- ・陸上自衛隊高等工科学校の生徒の募集に関する案内の送付等に利用するため。

【閲覧期日】

- ・令和4年9月28日

【閲覧に係る住民の範囲】

- ・平成19年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた男子

子育て給付（児童扶養手当制度・特別児童扶養手当制度）について

手当の種類	支給の目的・対象	支給月額
児童扶養手当	父母の離婚等により、父または母と生計を同じくしていない18歳未満の児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために支給されます。	44,140円～10,410円 ※養育者の所得や児童の人数により変わります。
特別児童扶養手当	知的障がいまたは身体障がい（政令で定める程度以上）のある20歳未満の児童について、児童の福祉の増進を図るために支給されます。	重度障がい児（1級） 1人につき53,700円 中度障がい児の場合 1人につき35,760円

エゾシカ可猟期間中のお願い

令和5年度のエゾシカ狩猟期間は、令和5年10月1日（日）から令和6年3月31日（日）までとなっています。

国有林へ銃器による狩猟のため入林する際の取扱については、北海道森林管理局のホームページをご確認ください。

国有林では事故が発生することのないように、狩猟事故の防止及び残滓処理の徹底などマナーの遵守にご協力をお願いします。

また、期間中における国有林への一般の方の入林は自粛されますよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問合せ先 留萌南部森林管理署 ☎0164-42-2515

子育て世帯の皆さま 申請はお済みですか？

申請期限は令和5年9月30日（土）まで



◆北海道◆

物価高騰等対策特別支援事業

お米・牛乳子育て応援事業



北海道は、食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と道産品の消費拡大を図るため、平成17(西暦2005)年4月2日から令和5(西暦2023)年9月30日までに生まれた子ども(対象児童)がいる北海道内の世帯に商品券等を支給します。

- 支給品** 支給対象の世帯ごとに、次のいずれか1つ (8,160円相当分)
- A商品券** (「おこめギフト券」または「おこめ券」と「牛乳贈答券」)
 - B電子クーポン** (北海道産の「米」と「牛乳」が購入可能)
 - C北海道米セット** (ゆめぴりか(5kg)2袋・ななつぼし(5kg)) ※送料含む
 - ①精米セット または ②無洗米セット ※どちらか1セット

1世帯あたり1回限り

申請方法 電子申請 または 郵送申請

[お問い合わせ先]
北海道お米・牛乳子育て応援事業事務局コールセンター

TEL.011-350-7371 受付時間/9:00~17:00 (年末年始を除く)

電子申請は
スマホが便利!



Information

2023年漁業センサスにご協力をお願いします

農林水産省は、令和5年11月1日現在（流通加工調査は令和6年1月1日現在）で「2023年漁業センサス」を実施します。

「漁業センサス」は、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、統計法に基づいて5年ごとに行う大規模な調査です。

10月初旬から調査員が漁業関係者の方々を訪問しますので、調査票に漁業の操業状況などの記入をお願いします。

なお、スマートフォン等を利用したオンラインでの回答も可能です。

回答内容は、統計を作成するためだけに使われます。統計調査員や調査関係者が、調査内容を他に漏らしたり、課税等その他の目的に使用することは法律で厳しく禁じられています。

「漁業センサス」は、漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。ご協力をよろしくお願いいたします。



J A北海道厚生連 苫前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科 外来日は
10月11日(水)

午前
診療時間 8:30 ~ 12:00
受付時間 8:00 ~ 11:30
午後
診療時間 13:30 ~ 15:00
受付時間 13:00 ~ 14:30

※診察には事前の予約が必要となります。電話での診療予約もできます。

管理栄養士による
「今日からあらためる食事療法・なんでも相談」
日程：11月15日(水)

予約制です。
ご希望の方は電話でお気軽におたずねください。

新型コロナウイルスワクチン接種対応のため、9月28日、10月4日・5日・12日・17日・18日・19日の13時30分～14時30分は休診いたします。

J A北海道厚生連 苫前厚生クリニック (☎ 65-3535)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

1枚300円

9月20日(水)発売!!

オンラインジャンボ宝くじ

（公財）北海道市町村振興協会

氏名	年齢	死亡日	住所
向野 義明	86	8月1日	九重
嘉野 勝一	79	8月2日	古丹別
高木 静夫	72	8月4日	苫前
村井 直江	93	8月9日	苫前
越後 幸夫	91	8月15日	苫前

ご厚志に感謝します

苫前町内会へ

○苫前 高木 幸子様

○苫前 越後 徳様

九重白葉会へ

○九重 向野 嘉壽様

戸籍の小箱

ご成長をお祈り申し上げます

花田 空太 あたらた 母 郁哉 7/15 九重

麻衣 出生日 7/15



^{だいご}
古林 大剛 1年
「ぴかちゅう」
ポケモンずかんでしらべて、ほんとうのおおきさでつくりました。しんぶんでかたちをつくったり、おりがみをはがれないようにはったりするのをがんばりました。



^{たいち}
福崎 太一 2年
「北海道地図」
色を細かくぬるのをがんばりました。みずうみをはみださないようにするのがむずかしかったです。



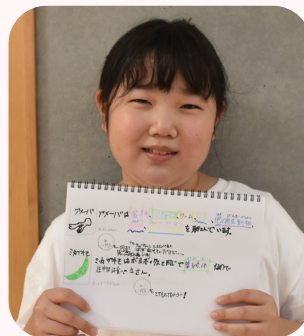
^{けんしん}
村本 健真 3年
「ウーパールーパーのウパロー」
本物のような形にするのをがんばりました。とくに顔をがんばりました。目もこだわりました。



^{かりな}
北村 雁菜 4年
「ほたてのれん」
貝がらに色をぬるのが大変でした。貝がらをつなげたり、ひもを結んだりするのをがんばりました。



^{なおこ}
森 奈緒子 5年
「旭山動物園サマースクール本」
わたしが旭山動物園サマースクールに行ってきたことを1さつの本にまとめました。写真をはったりイラストを入れたりして見やすくしました。



福崎 あかり 6年
「小さな生き物が食べる物」
一円玉と比べる時、一円玉の中に円を描くのが難しかったです。いろいろな生物で見方が違ったので、そこがおもしろいと思いました。

苫前町の交通事故情報

令和5年8月の事故情報

発生 0 件 死者数 0 件 負傷者数 0 件

交通事故死ゼロ日数
8月31日現在 780 日

風力発電の 売電状況

(町営風車「風来望」)

令和5年8月分の実績

供給電力量

290,736kWh
5,756,572 円



9月 町税の納期
国民健康保険税
介護保険料
後期高齢者医療保険料
の納付月です。

納期内の納付にご協力をお願いします。

まちの人口 (8月31日現在)

(前月比)
男 1,350 人 (-3)
女 1,417 人 (-7)
合計 2,767 人 (-10)
世帯 1,468 戸 (-3)